

第7次埼玉県地域保健医療計画
『南部保健医療圏 圏域別取組』取組実績
(平成30～令和5年度)
—修正版—

【重点取組：8項目】

- 1 歯科保健対策・・・・・・・・・・P 1～P 7
- 2 がん医療・・・・・・・・・・P 8～P 13
- 3 精神疾患医療・・・・・・・・・・P 14～P 20
- 4 感染症対策・・・・・・・・・・P 21～P 27
- 5 新型コロナウイルス感染症対策・・P 28～P 33
- 6 災害時医療・・・・・・・・・・P 34～P 40
- 7 在宅医療の推進・・・・・・・・・・P 41～P 49
- 8 医薬品等の安全対策・・・・・・・・P 50～P 55

1 歯科保健対策

目 標 生涯を通じて質の高い生活を送ることができるよう歯科口腔に関する対策を充実します。また、歯科健診・相談体制の充実を図ります。

主 な 取 組

- ・生涯を通じた歯科口腔保健対策の充実
- ・妊娠期から子育て期における母子の歯科口腔保健の推進
- ・フッ化物応用等をはじめとするう蝕予防対策
- ・在宅歯科医療サービスの充実

実 施 主 体 医師会、歯科医師会、市、保健所

[川口市医師会]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間：平成30～令和5年度	・骨と歯の健康を考える会 in川口 開催 - 第1回 令和5年1月20日 - 第2回 令和5年7月28日 - 第3回 令和6年1月19日 ・川口市が主催して実施される健康に係る事業に参画するとともに、健康相談事業等に医師を派遣するなど、事業に積極的な支援を行うことにより、市民の健康づくりに貢献した ・健康フェスティバルへの参加協力 内科医師と整形外科医師を派遣し、健康相談事業を実施 ・市産品フェアへの参加協力 ・介護フェスティバルへの後援 ・川口歯科医師会主催の多職種連携講演会に後援していく
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間：平成30～令和5年度	・骨と歯の健康を考える会 in川口 開催 ・川口市が主催して実施される健康に係る事業に参画するとともに、健康相談事業等に医師を派遣するなど、事業に積極的な支援を行うことにより、市民の健康づくりに貢献した ・健康フェスティバルへの参加協力 内科医師と整形外科医師を派遣し、健康相談事業を実施 ・市産品フェアへの参加協力 ・介護フェスティバルへの後援 ・川口歯科医師会主催の多職種連携講演会に後援 など、計画に基づき実施することができた
自己評価	A (ほぼ目標が達成できた)

[蕨田市医師会]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間：平成 30～令和5年度	・蕨田歯科医師会と「M&D」研修会共催 ・蕨田歯科医師会主催の講演会への参加
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に 係る総括 ※計画期間：平成 30～令和5年度	・蕨田歯科医師会と「M&D」研修会の共催 ・蕨田歯科医師会主催の講演会への参加
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口歯科医師会]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間：平成 30～令和5年度	・川口市妊産婦歯科健診受診者数の増加 ・保育所・幼稚園でのフッ化物洗口実施率の増加 ・小学校・中学校でのフッ化物洗口の実施 ・障害者及び施設での歯科健診・歯科保健指導の増加 ・成人歯科健診受診率の増加 ・高齢者への口腔機能維持活動の推進
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に 係る総括 ※計画期間：平成 30～令和5年度	歯科は新型コロナウイルス感染症のリスクが一番高いとされ、診療所での受診抑制が生じ、様々な事業も中断された。マスク・手袋・消毒用アルコール等も入手困難となった。国のスキームや行政からの備蓄品の提供があった事に感謝している。 この計画期間中は、行政の理解と協力により「生涯を通じた歯科口腔保健の充実」がほぼ達成された。但し令和2年から4年にかけては「お口の健康」に寄与出来ない期間が生じた。また、マスク常用による口呼吸と「お口ポカン」の悪癖問題の解消が図られている。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨市歯科医師会]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間：平成 30～令和5年度	・南部保健所歯科口腔保健連携会議については、令和2年度と令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止になってしまったのは非常に残念であったが、それ以外の年度では対面方式で開催することができた。 ・歯ッピー蕨、戸田市健康福祉の杜まつり共に、新型コロナウイルス感染症の影響や選挙投票日との重複により開催できなかった年度があったが、開催された年度においては、規模の縮小等があったにもかかわらず、いずれも盛況のうちに終了することができた。 ・戸田市の「糖尿病性腎症の重症化予防を目的とした歯科に係る取り組み」についても、新型コロナウイルス感染症の影響で一時中断されていたものの、再開に当たっては従来通り適宜患者教育、指導に努めている。 ・埼玉県歯科医師会主催の「埼玉県歯科口腔保健推進計画に基づく疾患別の講習会」等の周知に尽力し、講習を修了した登録医療機関を増やすことができた。 ・協会けんぽの特定健診会場での歯科健診が、一昨年度から蕨市でも行われるようになったが、受診者からは概ね好評である。 ・令和5年度は埼玉県及び埼玉県歯科医師会主催の「小児期からのう蝕予防研修会」が戸田市で開催され、戸田市長や戸田市市議会議員にも参加いただくことができた。また、戸田市のむつみ保育園園長には、園におけるフッ化物洗口の取り組みの事例発表を行っていただき、埼玉県歯科医師会内でも非常に好評であった。
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)
計画期間の取組に 係る総括 ※計画期間：平成 30～令和5年度	・南部保健所歯科口腔保健連携会議については、コロナウイルス感染症の影響を多少受けながらも、令和2年度と令和3年度以外は対面方式で開催することができた。対面方式で開催されるが故、毎回グループワークで活発な意見交換がなされるのは大きなメリットがあると考え。今後もグループワーク等の機会を利用しながら、各方面からの当地区における歯科医療の課題を吸い上げると共に、埼玉県歯科医師会の各種歯科保健事業について改めて説明、周知を行い、管内の歯科保健活動への更なる理解を求めて行きたい。 ・歯ッピー蕨、戸田市健康福祉の杜まつり共に、新型コロナウイルス感染症の影響や選挙投票日との重複により開催できなかった年度があったが、開催された年度においては規模の縮小等があったにもかかわらず、いずれも盛況のうちに終了することができた。今後もこれらのイベントを通して市民への歯科口腔保健意識の啓蒙活動を、引き続き積極的に行っていきたい。 ・戸田市の「糖尿病性腎症の重症化予防を目的とした歯科に係る取り組み」についても、糖尿病と歯周病の相関等に触れながら、対象者の当該疾患に対する理解を深められるように適宜指導を行っていきたい。 ・埼玉県歯科医師会主催の「埼玉県歯科口腔保健推進計画に基づく疾患別の講習会」等の周知を行い、対面方式に加えてハイブリッド方式の動画配信等も積極的に利用することにより、講習を修了した登録医療機関を増やすことに努めた。 ・協会けんぽの特定健診会場での歯科健診が、一昨年度から蕨市でも行われるようになったが、対象者に対しては口腔疾患と生活習慣病との関連や、特定保

	健指導の必要性について言及しながら、広く理解が得られるように努めた。 令和5年度は埼玉県及び埼玉県歯科医師会主催の「小児期からのう蝕予防研修会」が戸田市で開催され、戸田市長や戸田市市議会議員にも参加いただくことができた。また、戸田市のむつみ保育園園長には、園におけるフッ化物洗口の取り組みの事例発表を行っていただき、埼玉県歯科医師会内でも非常に好評であった。このような事業開催の機会を有効に活用し、当地区における保育園、幼稚園、小・中学校におけるフッ化物洗口の実現に向けて広く理解を求めていきたい。
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[川口市長寿支援課]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	65歳以上で要介護認定を受けていない高齢者を対象に、口腔機能の向上を目的とした「口腔教室」を市内公民館等で実施した。						
	年度	H30	R元	R2	R3	R4	R5
	教室数	21	22	14	22	22	22
	参加者数	168	162	79	113	111	148
	※コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度から令和5年度9月まで、教室の中止や定員を減員して教室を実施していたが、令和5年10月から通常の定員数に戻して実施している。						
関連する指標	(現状を示す指標) 特になし						
	(目標とする指標) 特になし						
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	通所型による口腔機能の向上を中心とし、併せて栄養改善等を含めた、総合的なプログラムを提供することにより対象者自身が日常生活上の支障を自覚し、日常生活機能を維持・改善するために必要なプログラムの必要性を理解した上で、対象者自身による改善方法の習得と、日常生活に定着させることの動機付けができた。						
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた						

[川口市保健所健康増進課・地域保健センター]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	妊婦歯科健康診査 （回数）	12回	11回	中止	11回	12回	12回
	1歳6か月児歯科健康診査 （受診率）	69.2%	65.7%	68.6%	68.4%	68.9%	68.3%
	1歳6か月児歯科健康診 事後指導教室（回数）	8回	6回	中止	中止	中止	終了
	3歳児歯科健康診査 （受診率）	87.8%	85.1%	61.3%	92.3%	89.1%	84.7%
	フッ化物塗布 （受診者数）	5,792人	5,364人	5,295人	6,400人	5,922人	5,767人
	成人歯科健康診査 （受診者数）	4,811人	4,531人	3,767人	3,977人	4,176人	4,082人
	歯科ドック （受診者数）	2,817人	2,395人	1,820人	1,794人	1,848人	1,579人
	口腔がん検診 （受診者数）	1,680人	1,925人	1,981人	2,162人	2,193人	1,935人
	訪問歯科健康診査 （受診者数）	250人	238人	239人	231人	223人	157人
	川口市歯と口の健 康フェスティバル （来場者数）	1,175人	1,062人	中止	中止	651人	825人
関連する指標	(現状を示す指標) 受診率、受診者数、来場者数						
	(目標とする指標) 前年度を上回る受診率、受診者数、来場者数						
計画期間の取組に 係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	新型コロナウイルス感染症拡大により、事業の中止や開催方法の大幅な見直しを余儀なくされるなど取組実績にも影響はでたが、多くの事業で、感染対策を十分に講じた上で事業継続したため、影響を最小限に抑えることができた。						
自己評価	A：ほぼ程度目標が達成できた						

[蕨市保健センター]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	【平成30年～令和5年度歯周疾患検診（節目）】受診率は低下傾向にある 受診率：13.0%（H30）、12.6%（R1）、11.1%（R2）、 11.4%（R3）、10.6%（R4）、8.7%（R5） 【平成30年～令和5年度20歳の歯科疾患予防推進事業】受診率は維持 受診率：9.6%（H30）11.7%（R1）、12.9%（R2）、 17.2%（R3）、12.1%（R4）12.9%（R5） 【平成30年～令和5年度2歳児フッ化塗布事業】受診率は維持 受診率：40.0%（H30）44.8%（R1）40.5%（R2）、 42.6%（R3）、42.7%（R4）、43.8%（R5） 【平成30年～令和5年度妊婦歯科健診】受診率向上が見られた 受診者146名（H30）、受診率23.8%（R1）、27.0%（R2）、 25.1%（R3）、26.3%（R4）、30.3%（R5）
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[戸田市福祉保健センター・戸田市親子健やか室]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	【福祉保健センター】 ・国の指針に基づいて、40歳、50歳、60歳、70歳、戸田市独自で30歳の成人歯科健診を実施 ・いきさわやか相談や歯に関する出前講座を実施 【親子健やか室】 ①母子健康手帳交付時の面接にて歯周病予防の周知、ワンポイントブラッシング指導を実施 ②乳幼児歯科健康診査(1歳・1歳8か月・2歳6か月・3歳6か月)の実施。 フッ化物歯面塗布(1歳8か月・2歳6か月)の実施。併せて令和5年度からは、う蝕のある児へもフッ化物歯面塗布を実施。 ③小学校2年生の親子対象に「第1大臼歯の虫歯予防」の講話、模型上でブラッシング指導を実施
関連する指標	(現状を示す指標) 【親子健やか室】乳幼児歯科健診受診率 3歳児でのう蝕の無い者の割合
	(目標とする指標) 【親子健やか室】乳幼児歯科健診の受診率 80% 3歳児でのう蝕の無い者の割合 90%

計画期間の取組に係る総括 ※計画期間：平成30～令和5年度	【福祉保健センター】 ・成人歯科健診を毎年実施し、市民の歯科医院に行くことやかかりつけ医を作るきっかけになったと考える。また成人歯科健診の案内から市の他の事業である、いきさわやか相談などに参加する市民もいたため、歯に関心をもってもらう良い機会になったと考えている。 【親子健やか室】 ①母子健康手帳交付時の面接にて歯周病予防の周知、ワンポイントブラッシング指導を実施できた ②乳幼児歯科健康診査(1歳・1歳8か月・2歳6か月・3歳6か月)、フッ化物歯面塗布(1歳8か月・2歳6か月)を実施した。令和5年度からは、う蝕のある児へもフッ化物歯面塗布を実施した。 ③小学校2年生の親子対象に「第1大臼歯の虫歯予防」の講話、模型上でブラッシング指導を実施した。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[埼玉県南部保健所]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間：平成30～令和5年度	・歯科口腔保健推進事業：会議の開催（1回／年）
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間は、平成30～令和5年度	・管内における歯科保健状況の把握と効果的な歯科保健事業展開のあり方を検討する場として、上記会議をどのように活用すべきか歯科医師会と検討を行った。 ・地域の実情に応じた歯科保健体制の整備、歯科医師会や行政、関係機関が一体となって歯科口腔保健の推進に関わっていく気運が醸成できた。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

2 がん医療

目 標

がん患者を含めた県民が、がんを知り、がんに向き合い、がんに負けることのない社会の実現を図るため、死亡原因の第1位であるがんの予防対策を推進するとともに、医療体制を充実し、がんの罹患率と死亡率の減少を目指します。また、がんに関する情報や医療資源等の情報提供体制及び相談支援体制の整備を図ります。

主 な 取 組

- ・受動喫煙防止対策実施施設等認証制度及び禁煙外来、禁煙支援等による予防対策（喫煙による健康被害の回避）の推進
- ・がん検診及び精密検査の受診率並びに検診等の質の向上
- ・地域がん診療連携拠点病院を中心とした医療機関の連携
- ・がん患者とその家族の療養生活の質の向上

実 施 主 体

医師会、歯科医師会、薬剤師会、市、保健所

〔川口市医師会〕

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	・肺がん検診、大腸がん検診、乳がん検診、子宮がん検診、胃がん内視鏡検診、前立腺がん検診など、市民の検診機会の拡充と健康保持の推進に努め ・新たに前立腺がん検診の実施を開始することができた ・地域がん診療連携拠点病院による市民公開講座を後援 ・部会、懇話会、カンファレンスでのがん症例勉強会等の実施
関連する指標	（現状を示す指標） （目標とする指標）
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	・肺がん検診、大腸がん検診、乳がん検診、子宮がん検診、胃がん内視鏡検診、前立腺がん検診の実施 ・新たに前立腺がん検診の実施を開始 ・地域がん診療連携拠点病院による市民公開講座を後援 ・部会、懇話会、カンファレンスでのがん症例勉強会等の実施 以上により医療体制の充実、市民の検診機会の拡充と健康保持を推進することができた
自己評価	A （ほぼ目標が達成できた）

〔蕨田市医師会〕

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	・肺がん、胃がん、大腸がん、乳がん、子宮がん検診を市民に実施 ・肺がん、胃がん、胃がん内視鏡の二次読影の実施 ・胃がん症例読影勉強会の実施 ・地域がん診療連携拠点病院と連携し、病診連携の会及び緩和ケアセミナーを実施する ・埼玉県医師会主催の6がんセミナーへの参加（胃、大腸、肝臓、子宮、乳腺、肺） ・乳がん検診及び精密検査精度向上のため、乳がんマンモグラフィー読影
--	--

	認定医を養成する。 ・全面禁煙、空間分煙実施施設増加への推進
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	・肺がん、胃がん、大腸がん、乳がん、子宮がん検診を市民に実施 ・肺がん、胃がん、胃がん内視鏡の二次読影の実施 ・胃がん症例読影勉強会の実施 ・地域がん診療連携拠点病院と連携し、病診連携の会及び緩和ケアセミナーを実施する。 ・埼玉県医師会主催の6がんセミナーへの参加 (胃、大腸、肝臓、子宮、乳腺、肺) ・乳がん検診及び精密検査精度向上のため、乳がんマンモグラフィー読影認定医を養成する ・全面禁煙、空間分煙実施施設増加への推進。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口歯科医師会]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	・医師会とがん医療連携推進会議の開催(術前術後の口腔ケア) ・がん関連病院との連携推進 ・川口市口腔がん検診による口腔がんの早期発見の推進 ・川口市口腔がん検診受診者の増加 ・口腔がんの啓発のための市民公開講座の開催
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間：平成30～令和5年度	川口市で口腔がん検診（当初は集団）を開始して10年以上が経過した。個別で実施するようになってからは、毎年専門医の講習を受けての更新制度として、手技の向上と平準化を図っている。 視診と触診を主体とした他のがん検診と発見率は、ほぼ同等である。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨戸田歯科医師会]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	・歯科医師会会員の診療所における禁煙・分煙の徹底を促がした。 ・国立がんセンター、埼玉県立がんセンター等と連携するために必要な知識を修得した、がん医療連携登録歯科医の増加を図るため、登録歯科医増加に向けて、埼玉県歯科医師会主催のDVDによる全国共通がん医科歯科連携講習会（WEB開催）への会員の参加を促した。 ・地元の病院との連携の会（研修会）への積極的な参加。（WEB含む。） ・ターミナルの患者さんに対する「口腔ケア」に対応するための研修会への参加による歯科医師のスキルアップ。 ・戸田中央病院からのがん連携紹介患者数の増加。
--	---

関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間：平成30～令和5年度	・国立がんセンター、埼玉県立がんセンター等と連携するために必要な知識を修得した、がん医療連携登録歯科医の増加を図るため、登録歯科医増加に向けて、埼玉県歯科医師会主催のDVDによる全国共通がん医科歯科連携講習会（WEB開催）への会員の参加を促し、登録歯科医が増加した。 ・コロナウイルス感染症の影響もあって、戸田中央病院とのがん医科歯科連携を進めるための体制が未だ十分とはいえない状況にある。今後、同病院との緊密な連携を構築するに当たって、がん患者の周術期口腔ケア、口腔管理の体制の強化をこれまで以上に積極的に進めて行きたい。
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[川口薬剤師会]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間：平成30～令和5年度	・がん検診受診の啓発 ・薬局内及び敷地内全面禁煙の推進 ・がんに関する学術講演会の実施
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間：平成30～令和5年度	・がん検診受診の啓発 ・薬局敷地内の全面禁煙の促進 ・がんに関する学術講演会の実施及び参加
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨市地域薬剤師会]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間：平成30～令和5年度	2人に1人が罹患する。積極的にがん健診をすすめる。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間：平成30～令和5年度	
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[戸田市薬剤師会]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	- 戸田中央総合病院薬剤部との薬薬連携研修会・SGD・会議実施 お薬手帳を利用したレジメン等の情報交換シックデイクードの活用 服薬情報等提供料3 SGD：「地域でより良い情報共有を行おう！」 ～入院時の服薬情報の管理と共有～ - 戸田市薬剤師会学術研修会の実施 がん領域研修会・疼痛緩和研修会等 - 禁煙啓発ポスターの掲示
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に 係る総括 ※計画期間：平成 30～令和5年度	第7次計画期間は新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより集合研修等ができないなどの影響があったが、ZOOMによるオンラインで対応することができた。その結果、施設の全面禁煙、禁煙啓発、がん検診受診勧奨、戸田中央病院との連携、がん領域研修会及び疼痛緩和研修会の実施等、計画期間を通じ概ね目標を達成することができた。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口市保健所健康増進課・地域保健センター]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	がん検診受診率（％）	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	胃がん内視鏡検診	2.0	3.7	3.8	4.4	4.8	5.1
	胃がんレントゲン検診	0.5	0.5	0.3	0.5	0.4	0.5
	大腸がん検診	11.0	10.8	9.5	10.2	10.3	10.3
	肺がん・結核検診	6.8	7.0	8.1	8.6	8.6	8.8
	子宮頸がん検診	13.2	13.6	13.1	12.9	13.2	13.4
	乳がん検診	12.1	12.5	11.1	11.2	11.8	11.6
	前立腺がん検診 ※令和5年度開始	—	—	—	—	—	4.8
	※新型コロナウイルス感染症拡大により、医療器具を体内に挿入する胃がん内視鏡検診、子宮頸がん検診の令和2、3年度受診率が低調であり受診控えが読み取れる。医療機関においては、感染対策を行いながらの検診になり、受診者数を絞るなど配慮した検診を実施した影響が考えられる。						
関連する指標	(現状を示す指標) 令和2年度地域保健・健康増進事業報告より						
		2020年度 (令和2年度)	2020年度～2023年度 (令和2年度～令和5年度)				
	胃がん検診	4.6%	前年度を上回る				
	肺がん検診	4.9%	前年度を上回る				
	大腸がん検診	6.1%	前年度を上回る				
	子宮頸がん検診	19.6%	前年度を上回る				
	乳がん検診	13.9%	前年度を上回る				

	(目標とする指標) 上記表のとおり
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受けつつ、がん検診の重要性を鑑み、医療機関の協力のもと、検診を中断することなく継続して行うことができました。医療機関においては、平常時以上に厳重な感染対策が必要とされ、感染拡大を防ぐために受診できる人数に制限を設けた上で受診者を受け入れていただきました。これにより、市民の皆様が安心して検診を受けられる環境を整えることができました。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨市保健センター]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間：平成30～令和5年度	【平成30年～令和5年度がん検診受診率（地域保健・健康増進事業報告）】 肺がんは、受診率は年々低下傾向、胃がん・大腸がん・子宮がん・乳がんは受診率維持 肺がん：12.1%（H30）、11.1%（R1）、9.7%（R2）、9.6%（R3）、9.1%（R4）、8.7%（R5） 胃がん：4.9%（H30）、4.9%（R1）、4.1%（R2）、3.9%（R3）、4.2%（R4）4.2%（R5） 大腸がん：6.8%（H30）、6.5%（R1）、5.8%（R2）、6.1%（R3）5.8%（R4）、6.4%（R5） 子宮がん：16.4%（H30）、16.6%（R1）15.8%（R2）15.3%（R3）15.6%（R4）15.9%（R5） 乳がん：18.0%（H30）、17.4%（R1）16.2%（R2）15.1%（R3）14.9%（R4）、14.8%（R5）
自己評価	C：ほとんど達成できなかった

[戸田市福祉保健センター]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	計画期間内の毎年度、以下の内容を実施した。 ・がん検診の対象者全員へ個別通知を発送した。また、未受診者へ受診再勧奨通知を発送した。 ・イベントや市ホームページ・広報等で、がん全般、がん予防及び受診促進に関する普及啓発を行った。 ・精密検査未受診者に対し、電話での受診勧奨を行った。 ・「戸田市認定禁煙実施店」について、新規の店舗に対し制度の周知を行い、登録の促進を図った。 ・令和5年度から、がん患者医療用補正具購入補助金及びターミナルケア在宅
--	---

	療養生活支援補助金制度を実施した。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	がん検診の対象者全員へ個別通知を送付することで、受診勧奨に繋がった。また、未受診者への再勧奨通知の送付後には問合せが増え、再勧奨に繋がったと考える。 更に、精密検査未受診者への電話かけを通じて、受診を促すことができた。 令和5年度から、戸田市がん対策推進条例の施行に伴いがん患者医療用補正具購入費補助金及びターミナルケア在宅療養生活支援補助金を開始し、がん患者の療養生活支援に寄与することができたと考える。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[埼玉県南部保健所]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	- 健康増進法の一部を改正する法律の施行に伴い、新たな埼玉県受動喫煙防止対策実施施設等認証制度の開始（令和元年6月1日から継続） - 認証制度及び条例に基づく届出について、他担当も含めた保健所実施の会議や研修会等を通じ周知を図り、認証施設数の増加を図る。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	「肺がん」は「喫煙」だけでなく遺伝子因子、感染、大気汚染等も原因として考えられるが、「健康づくりの取組としては予防可能な因子への対策を進めていくことが重要」（健康増進計画）である。「受動喫煙対策」という言葉は広く浸透しつつあるものの、喫煙者に対する禁煙対策は一筋縄ではいかない。 健康増進法で言う「第一種施設」は法律による規制があるため、禁煙（受動喫煙低策）が積極的に実践されており、更に飲食店や娯楽施設等のいわゆる「第二種施設」についても、少しずつ受動喫煙対策が理解され始めている。しかし、現法における飲食店の除外規定や屋外に灰皿を設置する際の「配慮義務規定」について、喫煙者と非喫煙者にはかなりの温度差があるため引き続き地道な取組が必要である。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

3 精神疾患医療

目 標 心の健康づくりを図るとともに、精神保健に係る相談体制の整備・充実を図ります。また、精神障害者が地域社会の一員として安心して自分らしい生活ができるよう、関係機関と連携し、地域生活支援体制づくりを目指します。

主 な 取 組

- ・精神保健福祉相談・訪問支援体制の強化
- ・地域生活支援体制の整備
- ・ひきこもり対策の推進
- ・認知症対策の推進

実 施 主 体 医師会、市、保健所

[川口市医師会]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	・自殺対策の推進 うつ病等に係る学術講演会を開催した。 ・認知症対策 認知症診療連絡協議会を運営した。 認知症に係る学術講演会等を開催した。 埼玉県医師会主催の認知症診療対応力向上研修会に参加した
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	・自殺対策の推進 うつ病等に係る学術講演会を開催した。 ・認知症対策 認知症診療連絡協議会を運営した。 認知症に係る学術講演会等を開催した。 埼玉県医師会主催の認知症診療対応力向上研修会に参加した。 以上により、心の健康づくりと相談体制の整備・充実を図ることができた
自己評価	A (ほぼ目標が達成できた)

[蕨田市医師会]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	・うつ病の診療、支援基盤の強化事業への協力 ・認知症疾患医療センターと連携し、研修会への参加 ・学術講演会でうつ病及び認知症等の講演会を開催する ・認知症サポート医研修会への参加
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)

計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	・うつ病の診療、支援基盤の強化事業への協力 ・認知症疾患医療センターと連携し、研修会への参加 ・学術講演会でうつ病及び認知症等の講演会を開催する。 ・認知症サポート医研修会への参加
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口歯科医師会]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	・障害者歯科相談医の登録見直しと研修会開催 ・重度心身障害者を治療するための口腔保健センター設立を川口市に要望 ・認知症対策として、県南在宅医療研究会（川口市医師会）との合同講習会
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	精神障害を含む障害児・者に歯科診療を提供する口腔保健センターの開設を要望している。人口数上位10市の中核市で、口腔保健センターが無いのは川口市だけである。 多職種と連携できる地域包括ケアの拠点も兼ねた施設の中に、口腔保健センターが設置されるよう要望している。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口市長寿支援課]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	平成30年～令和2年までの第7期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画において、「認知症施策の推進」は、新オレンジプランに基づき以下の取り組みを定めている。 〈主な取り組み〉 (1) 認知症への理解を深めるための普及・啓発 (2) 認知症サポーターの活躍の場の充実 (3) 認知症の様態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供 (4) 認知症初期集中支援チームの利用促進 (5) 認知症の人の介護者への支援 (6) 認知症の人を含む高齢者に優しい地域づくり 令和3年～令和5年までの第8期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画において、「認知症施策の推進」は、新オレンジプランを基盤とした認知症施策推進大綱に沿った以下の取り組みを定めている。 〈主な取り組み〉 (1) 普及啓発・本人発信支援 (2) 早期発見・早期対応の体制整備 (3) 認知症の人の介護者への支援 (4) 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり
--	--

関連する指標	(現状を示す指標) 特になし
	(目標とする指標) 特になし
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	〈平成30年～令和2年までの第7期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の振り返り〉 認知症サポーターの養成、認知症ケアパスの作成・普及、認知症初期集中支援チームの利用促進、認知症カフェの開催など認知症施策を推進し、地域でのセーフティネットの構築を進めた。 ・平成30年から「認知症あんしんガイド」（認知症ケアパス）を作成した ・認知症サポーター養成講座を開催し、サポーターが約22,000人となった ・認知症カフェの開催を促進し、認知症サポーターが活躍できる場の拡充を図った 〈令和3年～令和5年までの第8期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の振り返り〉 ・認知症サポーター養成講座を開催し、サポーターが約30,000人となり、小中学校・企業・職域への講座回数も年々増加している。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2～4年度にかけて認知症サポーター養成講座の中止や定員を減員して実施していた。 ・認知症初期集中支援チームへの新規支援件数は、年々増加している。
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[川口市保健所疾病対策課]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	○精神保健福祉相談・訪問支援体制の強化 ・精神保健福祉相談、専門相談の実施 ・精神障害者訪問支援強化事業の実施 ・若年者早期相談・支援事業の実施 ・こころの健康に関する講座の実施（オンデマンド配信） ・家族教室（統合失調症／依存症）の実施 ・自殺予防対策事業の実施 ゲートキーパー研修、リーフレット等の配布、メンタルヘルスチェックシステムの運用等の普及啓発、自殺未遂者支援、自殺対策庁内連絡会議 ○地域生活支援体制の整備 ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築のための協議の場実施 ・こころサポーター養成講座の実施 ・関係機関向け研修（人材育成）の実施 ○ひきこもり対策の推進 ひきこもり相談窓口、ひきこもり家族のつどい、参加者研修会の実施
関連する指標	(現状を示す指標) 特になし
	(目標とする指標) 特になし

計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	○精神保健福祉相談・訪問支援体制の強化 通常の相談業務に加え、予防的視点を持ち、早期に介入をすることで課題が深刻化しないような関りができるよう、訪問支援強化事業（アウトリーチ事業）や若年者早期相談支援事業を活用し対応することで、支援体制を整えることができた。若年者早期相談支援事業では、中高生の相談も多く教育機関との連携や相談体制について、検討をしていく必要性を感じている。また、家族教室で精神疾患に関する正しい知識の習得や自殺予防対策として庁内連絡会議、ゲートキーパーの養成、自殺予防週間や自殺対策月間で普及啓発を行ったことで、広く市民に自殺予防に対する意識や周知を図ることができたと考える。 ○地域生活支援体制の整備 精神障害者やメンタルヘルスに課題を抱える方が地域で安心して生活が送れるように、こころサポーター養成講座で地域住民の理解や偏見をなくす等メンタルヘルスリテラシーの向上を図り、また、協議の場で医療・保健・福祉が一体となって支えていくことができるように地域の課題を抽出し解決に向けて話し合いを進めている。 ○ひきこもり対策の推進 ひきこもり対策の主管課を福祉部局に移し、相談窓口は引き続き行うこととしている。また、ひきこもりの家族の交流の場、情報交換の場として、家族のつどいを引き続き実施していく。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨市保健センター]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間：平成30～令和5年度	
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)

計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	【平成30年～令和5年度こころの健康講座（アルコール関連問題講演会）】 参加者は一定を維持している。 1回、80名（H30）、1回、71名（R1）、0回、0名（R2） 1回、60名（R3）、1回、90名（R4）、1回、51名（R5） 【平成30年～令和5年度こころの健康相談】 コロナ渦は減少したがその後は徐々に増加している。 9回、11名（H30）、9回、15名（R1）、4回、4名（R2）、 6回、6名（R3）、3回、5名（R4）、11回、14名（R5） 【平成30年～令和5年度ゲートキーパー養成講座（自殺対策事業）】 コロナ渦は中止もあったが、その後は増加している。 2回、29名（H30）、1回、24名（R1）、1回、14名（R2） 0回、0名（R3）、2回、39名（R4）2回、56名（R5） その他個々のケースに応じた相談支援により対応
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[戸田市福祉保健センター・障害福祉課]

計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	【福祉保健センター】 新型コロナウイルス感染症拡大により中止となった事業もあるが、おおむね全事業について計画通りに実施することができた。 計画通りに相談を実施し、こころの健康づくりについての周知・啓発を実施することができ、目標の達成に寄与することができたと考える。 【障害福祉課】 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」については、地域自立支援協議会を通じて現状の課題を把握し、それぞれの関係機関が課題解決に向け事業に取り組むことができた。また、「地域生活支援拠点」については、ガイドラインを作成し、事業概要の具体化に取り組むことができた。
関連する指標	（現状を示す指標）【福祉保健センター】こころの健康相談件数
	（目標とする指標）【福祉保健センター】こころの健康相談件数の向上

計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	【福祉保健センター】 新型コロナウイルス感染症拡大により中止となった事業もあるが、おおむね全事業について計画通りに実施することができた。 計画通りに相談を実施し、こころの健康づくりについての周知・啓発を実施することができ、目標の達成に寄与することができたと考える。 【障害福祉課】 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」については、地域自立支援協議会を通じて現状の課題を把握し、それぞれの関係機関が課題解決に向け事業に取り組むことができた。また、「地域生活支援拠点」については、ガイドラインを作成し、事業概要の具体化に取り組むことができた。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[埼玉県南部保健所]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	精神保健福祉相談・訪問支援体制の強化 ・措置入院者フォロー検討会の開催 →令和4年度より川口市保健所の措置入院者フォロー検討会にも参加、定期的に措置入院者の処遇等の検討を行った ・措置入院者の面接 →措置解除面接はコロナ禍の病院事情を除き、全員実施した。 ・支援者スキルアップ研修会の開催 →支援者のスキルアップに必要なテーマを念頭におき、年1～2回研修会を開催した。 地域生活支援体制の整備 ・精神障害者支援地域協議会代表者会議の開催 →管内関係機関の代表者に参加してもらい、措置入院を中心に精神保健福祉に関する状況の共有を図った。 ・地域包括ケアシステムに関する協議の場の開催 →管内関係機関の代表者に参加してもらい、地域包括ケアシステムに関する話題の共有、取組の報告などを行った。 ・地域包括ケアシステムに関する研修会 →地域包括に関わる研修会、事例検討などを行った。 ・薬物依存症家族のつどい →家族の話しをする場、依存症テキストを用いて、家族に病気についての知識習得などを図ってきた。事業見直しにより令和5年度で終了となる。 ひきこもり対策の推進 ・ひきこもり専門相談 →臨床心理士によるひきこもり当事者、家族に対する専門相談を実施した。 ・ひきこもり講演会 →ひきこもりに関する市民向けの講演会を実施、令和4年度より戸田市、蕨市との共催事業として実施した。
--	--

	認知症対策の推進 ・認知症疾患医療連携協議会への参加 →協議会、研修会等に定期的に参加した。 ・認知症ケースの同伴面接・同伴訪問 →家族の相談を受けて、適切な機関へのつなぎを行った。管内関係機関職員より認知症関連の相談を受け、同伴面接、同伴訪問等を随時行った。 自殺予防対策の推進 ・ゲートキーパー養成に関する研修の開催 →管内関係機関職員に対し、自殺予防対策を推進するために必要な内容の研修会を実施した。 ・依存症に関する研修会 →管内関係機関職員に対し、依存症に関する各種研修会を実施した。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	○措置入院を繰り返すケースや処遇が難しいケースが増えている。経済的困窮や家族が不在という状況により、行政が介入しないと入院調整等が困難なケースも見受けられるようになっている。このような状況を鑑みると、日頃より関係機関と顔の見える関係を築き、必要な時に相談をして、すぐに連携できる体制を築いていく必要がある。当所では、関係機関からの相談等は随時対応し、同伴面接、同伴訪問等を一緒に行い、職員の相談技術向上や連携強化を図ることができた。措置ケースに関しては、措置解除面接や措置フォロー検討会を実施して情報共有等を密に行い、ケース支援に活かすことができた。 ○地域共生社会の実現に向けて、平成30年度から「埼玉県精神障害者を地域で支えるシステム構築事業」として地域支援体制整備を目的に様々な事業を実施した。管内関係機関の地域包括ケアシステムの推進に向けて寄与できている。 ○ひきこもりや認知症については、通常時の相談も丁寧に対応してきた。関係機関や市民に対する普及啓発等も研修会などを通じて随時実施した。ひきこもり、認知症に関しては、今後もさらなる増加が見込まれ、難しい相談も増えることが予想されるため、担当職員のスキルアップも重要である。 ○自殺予防対策については、依存症を中心とした各種研修会を実施した。令和4年度の県内の自殺者数は1247人で、令和3年度より143人増加、全国で一番増加数が多かったことから、自殺予防対策は県全体の喫緊の課題であると考え。
自己評価	A （ほぼ目標が達成できた）

4 感染症対策

目 標	感染症の発生に迅速に対応できるよう関係機関の連携体制の構築を図ります。 また、感染症に関する情報提供体制や相談体制の充実・強化を図ります。
主 な 取 組	・感染症に関する検査・相談体制の充実 ・感染症対策に関する研修や訓練の実施 ・感染症対策の体制整備
実 施 主 体	医師会、歯科医師会、薬剤師会、市、保健所

[川口市医師会]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間：平成 30～令和5年度	・学術講演会を開催 川口市医師会主催の感染症関連の学術講演会を開催し専門知識を深めた。 ・感染症サーベイランス 小児科の感染症サーベイランスを実施し、その内容を川口市医師会ホームページに掲載した。 ・埼玉県感染症発生動向調査事業 内科、小児科、泌尿器科、産婦人科の指定届出機関が事業に参画した。 ・新型コロナウイルス感染症対策については公衆衛生部主導のもと、埼玉県、埼玉県医師会、川口市、川口市保健所と緊密に連携し（川口市及び川口市保健所と対策会議を実施。その他臨時会議、ZOOM会議を実施） 会員に協力いただき、ワクチン接種について個別接種を鋭意行った。 また、会員医療機関にて感染者の診療及び検査を行った。
関連する指標	（現状を示す指標）
	（目標とする指標）
計画期間の取組に 係る総括 ※計画期間：平成 30～令和5年度	・学術講演会を開催 川口市医師会主催の感染症関連の学術講演会を開催し専門知識を深めた。 ・感染症サーベイランス 小児科の感染症サーベイランスを実施し、その内容を川口市医師会ホームページに掲載した。 ・埼玉県感染症発生動向調査事業 内科、小児科、泌尿器科、産婦人科の指定届出機関が事業に参画した。 ・新型コロナウイルス感染症対策については公衆衛生部主導のもと、埼玉県、埼玉県医師会、川口市、川口市保健所と緊密に連携し（川口市及び川口市保健所と対策会議を実施。その他臨時会議、ZOOM会議を実施） 会員に協力いただき、ワクチン接種について個別接種を鋭意行った。 また、会員医療機関にて感染者の診療及び検査を行った。 以上により、感染症拡大時における対応に備えることができた。
自己評価	A （ほぼ目標が達成できた）

[蕨戸田市医師会]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間：平成 30～令和5年度	・新型インフルエンザ等の感染症流行の際に、関係機関と連携体制を強化する。 ・南部保健所で開催の感染症対策会議への参加 ・感染症対策に関する研修会の実施 ・県感染症発生動向調査指定医療機関の推薦届
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間：平成 30～令和5年度	・新型インフルエンザ等の感染症流行の際に、関係機関と連携体制を強化する。 ・南部保健所で開催の感染症対策会議への参加 ・感染症対策に関する研修会の実施 ・県感染症発生動向調査指定医療機関の推薦届
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口歯科医師会]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間：平成 30～令和5年度	・梅毒の感染拡大に伴い、「口腔・咽頭部における病変」に関する研修会を会員向けに行う。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間：平成 30～令和5年度	歯科は唾液と血液に触れるのが当たり前なので、スタンダードプリコーションという標準予防策が確立している。 しかし、新型コロナウイルス感染症に対しては換気の問題、診療室だけでなく待合室の消毒等の新しい対策が必要となった。 また、最近は梅毒の感染者が増えているので、様々なSTDに起因する口腔粘膜病変の理解が深まるよう研修会も行った。 保健所とも連携を強化して、迅速で確実な対応をとれるよう努めている。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨戸田歯科医師会]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間 平成30～令和5年度	・医療従事者の予防接種実施の推進。 ・医療従事者の健康診断実施の推進。 ・感染症対策講習会参加の推進。 ・感染症対策マニュアル作成。 ・感染汚染物質の専門処理業者への廃棄の委託の周知。 ・コロナウイルス感染症に対する予防対策の徹底。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)

計画期間の取組に係る総括 ※計画期間：平成30～令和5年度	・それぞれの取組に対し、おおむね問題なく推進、周知が進んだ。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

〔川口薬剤師会〕

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間：平成30～令和5年度	・感染症予防の啓発（予防接種の推進を含む） ・感染症に関する学術講演会の実施及び参加
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間：平成30～令和5年度	・感染症予防の啓発（予防接種の推進を含む） ・感染症に関する学術講演会の実施及び参加
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

〔蕨市地域薬剤師会〕

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間：平成30～令和5年度	・手洗い、うがい、マスクの徹底 ・防護服の整備
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間：平成30～令和5年度	
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[戸田市薬剤師会]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間 平成30～令和5年度	- 学校薬剤師による、感染症発生状況の情報共有 - 新型コロナ関連情報収集 - 医薬品、衛生用品等の備蓄体制検討 - 消毒マニュアルの作成、配布 - マスク品薄時販売店紹介 - 学校薬剤師として知っておくべき感染症の対策ガイドラインについて会員に周知 - 消毒用アルコールの確保、供給 - 新型コロナウィルスワクチン接種の協力体制の検討 - 感染拡大防止について薬局への情報提供及び指導 - 感染拡大防止について市内小中学校への情報提供及び指導 - コロナ禍で行った感染対策についての学術講演会実施 - 抗原検査キットの薬局での販売 - ラゲブリオ及びパピロビットパックの拠点整備と安定供給 - 薬局における感染対策グッズの販売 - 学校薬剤師による感染予防指導
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	第7次計画期間は新型コロナウイルス感染症のパンデミックと重なり、医薬品、衛生用品等の備蓄、消毒用アルコールの確保・供給、学校・老人福祉施設等での消毒指導、学校薬剤師による感染予防指導、感染対策についての学術講演会実施、薬局における感染対策グッズの販売、抗原検査キットの薬局での販売、ラゲブリオ及びパピロビットパックの拠点整備と安定供給等、計画期間を通じ目標以上の活動を実施した。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口市保健所疾病対策課]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	(1) 感染症 - 感染症発生動向調査 - HIV、性感染症検査 - 通常検査：月1回 - 休日検査：年1～2回(※) - 感染症発生訓練(防護服着脱訓練、マスクフィットテスト実技) (2) 結核 - DOTS事業 - 結核接触者健診 - 結核管理検診 (3) 肝炎 - 肝炎治療費助成事業：県への進達業務 - 肝炎重症化予防事業 (4) 普及啓発 - HIV検査普及週間、世界エイズデー(ポスター掲示、ポケットティッシュ配布)
--	---

	・結核予防週間（ポスター掲示、ボールペン配布） ※新型コロナウイルス感染症拡大により業務縮小または中止
関連する指標	（現状を示す指標）結核罹患率 DOTS実施率
	（目標とする指標）結核罹患率 DOTS実施率
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	（１）感染症 HIV、性感染症検査（休日検査）については、新型コロナウイルス感染症感染拡大期は、縮小する業務もあったが、その他の業務は縮小することなく実施できた。感染症発生訓練は令和5年度から定期的な実施ができており、健康危機対処計画に基づき体系化することができた。 （２）結核 新型コロナウイルス感染症感染拡大期は、訪問・対面相談を縮小したが、DOTS事業、接触者健診、管理検診は結核罹患率を減少させるべく継続に努めた。新型コロナウイルス感染症まん延の影響も考えられるが事業の継続により罹患率の減少に寄与することができた（川口市結核罹患率：平成30年17.2→令和5年10.9）。 （３）肝炎 肝炎ウイルス検査受検の促進、肝炎・肝がん・重症肝硬変患者への早期かつ適切な医療を促進することができた。 （４）普及啓発 市ホームページ掲載・ポスター掲示等、継続して実施したことにより、感染症まん延防止を図ることができた。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

〔蕨市保健センター〕

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年	
関連する指標	（現状を示す指標）
	（目標とする指標）
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間は、 平成30～令和5年度	・新型コロナワクチン接種体制の確立 ・広報・ホームページを活用した市内感染状況や感染対策に関する情報提供
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[戸田市福祉保健センター]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	計画期間中に新型コロナウイルス感染症拡大があったため、感染症対策における訓練だけでなく、感染拡大防止のための取り組みを多数実施した。 ①感染症対策に関する研修や訓練の実施 ・新型インフルエンザ等対策訓練を実施 ・実際に新型コロナウイルス感染症が拡大し、拡大防止のための取り組みを実施 ②感染症対策の体制整備 ・緊急連絡網の整備 ・新型インフルエンザ等の対策の強化 ・庁内会議の開催 ・市のHP・広報・ツイッター・フェイスブック等 ・小中学校、保育園等への周知 ・消毒液やマスクの備蓄購入
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	令和元年からの新型コロナウイルス感染症拡大により、新型コロナウイルス感染症対策を主に実施していた。新型コロナウイルス感染症以外では、高齢者インフルエンザ予防接種の周知を広報やホームページ等で行い、接種率の向上を図った。計画期間中では、平成30年度は接種者数が9,637人だったが、その後の年度では各年度で1万人以上が接種した。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[埼玉県南部保健所]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	感染症に関する検査・相談体制の充実 ・性感染症の検査、即日検査については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、令和3年度～定員を縮小、令和4年2月～5月は中止、令和4年6月～令和5年1月までは定員を縮小。それ以外の時期は通常どおり実施。 ・感染症に関する相談 随時 感染症対策に関する研修や訓練の実施 ・管内感染症担当者連携会議 1～2回／年 ・防護服着脱訓練 1回／年 令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染拡大により中止。 ・感染症研修会（高齢者施設への研修）1回／年 感染症対策の体制整備 ・管内感染症担当者会議 年1回 ただし、令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大により中止。 ・管内市担当者緊急連絡網の更新 1回／年 ・感染症発生時の連絡訓練 1回／年（国、県、保健所、医療機関）
関連する指標	（現状を示す指標）
	（目標とする指標）
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、性感染症検査、管内感染症担当者会議等、縮小や中止を行った。令和5年5月8日に感染症法5類へ移行したため、通常の対応に戻ってきている。 新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、全体をとおして、ほぼ計画したものはその時の状況により実施できた。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

5 新型コロナウイルス感染症対策

目 標

感染拡大を未然に防ぐとともに、感染者発生時に迅速に対応できるよう関係機関の連携体制の構築を図ります。

また、感染症に関する情報提供体制や相談体制の充実・強化を図ります。

主 な 取 組

- ・相談、診療・検査、医療・療養体制の充実
- ・感染症対策の体制整備
- ・感染予防対策の普及啓発

実 施 主 体

医師会、歯科医師会、薬剤師会、市、保健所

〔川口市医師会〕

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間：平成 30～令和5年度	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行政と連携し、市民の安全を最大限に考慮し事業を行った。 ・診療・検査、医療・療養体制の充実、感染症対策の体制整備、感染予防対策の普及啓発について行政と連携し、公衆衛生部主導のもと感染拡大防止に努めた。 ・基本毎週月曜日に川口市及び川口市保健所と対策会議を実施。その他臨時会議を実施した。
関連する指標	（現状を示す指標）
	（目標とする指標）
計画期間の取組に 係る総括 ※計画期間：平成 30～令和5年度	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行政と連携し、市民の安全を最大限に考慮し事業を行った。 ・診療・検査、医療・療養体制の充実、感染症対策の体制整備、感染予防対策の普及啓発について行政と連携し、公衆衛生部主導のもと感染拡大防止に努めた。 ・基本毎週月曜日に川口市及び川口市保健所と対策会議を実施。その他臨時会議を実施した。 以上により、新型コロナウイルス感染症感染拡大を未然に防ぎ、感染者発生時の体制の強化、構築を図ることができた。
自己評価	A （ほぼ目標が達成できた）

〔蕨田市医師会〕

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間：平成 30～令和5年度	・埼玉県指定診療・検査医療機関の拡充により、診療・検査体制の強化 ・新型コロナウイルス感染症ワクチンの集団接種と医療機関による個別接種の実施 ・医師会においてPCR検査の実施 ・大型連休時の診療・検査医療機関の調整 ・新型コロナウイルス感染症発生の際、関係機関との連携体制の強化
関連する指標	（現状を示す指標）
	（目標とする指標）
計画期間の取組に 係る総括 ※計画期間：平成	・埼玉県指定診療・検査医療機関の拡充により、診療・検査体制の強化 ・新型コロナウイルス感染症ワクチンの集団接種と医療機関による個別

30～令和5年度	接種の実施 ・医師会においてPCR検査の実施 ・大型連休時の診療・検査医療機関の調整 ・新型コロナウイルス感染症発生の際、関係機関との連携体制の強化
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口歯科医師会]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間：平成 30～令和5年度	・パンデミック時の対策本部設置運営訓練と関係機関との連携 ・院内感染予防管理に関する研修会の開催 ・集団歯科健診時の感染予防に対する啓発活動 ・発熱がなくとも疑いがあれば、始業前に抗原検査キットで確認
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に 係る総括 ※計画期間：平成 30～令和5年度	診療での明白な院内感染事例は確認されなかった筈だが、診療者サイドに感染者が発生し休診した場合の風評被害は惨かったと記憶している。様々な救済策も講じられたが、人と人が接するあらゆる業種の暗黒時代であった。 歯科医師によるワクチン接種は県南では行われなかった。 また、SNSによる悪意ある情報拡散には国として毅然と対応していただきたい。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨戸田歯科医師会]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	・地域の自治体・消防・医療機関等で連携し、必要な情報を的確に提供できる体制を作り、新型コロナウイルス感染症の現状を把握できるよう努めた。 ・新型コロナウイルス感染症の院内感染を防止するため、会員の啓発指導を行い、予防対策を進めた。 ・医療従事者のワクチン接種実施を可及的に進めた。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に 係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	・5類となった現在においては、以前より意識の緊張感が減ったといえども、取組に対しての対策、実施は他の感染症同様、おおむね問題なく推進、周知が進んだ。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口薬剤師会]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間：平成 30～令和5年度	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の啓発 ・医療用抗原検査キットの供給 ・新型コロナウイルス感染症に関する学術講演会の実施及び参加
--	---

関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間：平成30～令和5年度	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の啓発 ・医療用抗原検査キットの販売 ・新型コロナウイルス感染症に関する学術講演会の実施及び参加
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[蕨市地域薬剤師会]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間：平成30～令和5年度	・検査薬の備蓄 ・高貴薬（ソコーバ等）の在庫管理
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間：平成30～令和5年度	
自己評価	

[戸田市薬剤師会]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間 平成30～令和5年度	・ 学校薬剤師による、感染症発生状況の情報共有 ・ 新型コロナ関連情報収集 ・ 医薬品、衛生用品等の備蓄体制検討 ・ 消毒マニュアルの作成、配布 ・ マスク品薄時販売店紹介 ・ 学校薬剤師として知っておくべき感染症の対策ガイドラインについて会員に周知 ・ 消毒用アルコールの確保、供給 ・ 新型コロナウイルスワクチン接種の協力体制の検討 ・ 感染拡大防止について薬局への情報提供及び指導 ・ 感染拡大防止について市内小中学校への情報提供及び指導 ・ コロナ禍で行った感染対策についての学術講演会実施 ・ 抗原検査キットの薬局での販売 ・ ラゲブリオ及びパピロビットパックの拠点整備と安定供給 ・ 薬局における感染対策グッズの販売 ・ 学校薬剤師による感染予防指導
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間：平成	医薬品、衛生用品等の備蓄、消毒用アルコールの確保・供給、学校・老人福祉施設等での消毒指導、学校薬剤師による感染予防指導、感染対策についての学術講演会実施、薬局における感染対策グッズの販売、抗原検査キットの薬局で

30～令和5年度	の販売、ラゲブリオ及びパピロビットパックの拠点整備と安定供給等、計画期間を通じ目標以上の活動を実施した。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口市保健所疾病対策課]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	・委託、派遣を活用した療養支援体制の強化 ・委託による検体搬送、移送の実施 ・独自の患者管理システムによる高リスク者への優先的な健康観察の実施 ・コールセンターの設置による相談体制の拡充 ・SMS、電子申請等を活用した業務の効率化 ・感染拡大防止のため、クラスターが発生した高齢者施設等への施設調査及び助言 ・貸出用酸素濃縮装置の配備 ・市民への広報やホームページ等による普及・啓発（同時流行に備え、ワクチン接種、抗原定性検査キット及び解熱鎮痛薬の購入等、基本的な感染対策、感染流行状況） ・新型コロナウイルス感染症公費負担医療費の適正な実施
関連する指標	(現状を示す指標) 特になし (目標とする指標) 特になし
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	新型コロナウイルス感染症感染拡大期には、患者の情報共有や事務処理に関して積極的にICTの導入をすすめるとともに、相談や陽性者の健康観察業務等に関しての外部委託や派遣職員、庁内からの職員の応援も活用した。関係機関との連携体制も整えたが、ひっ迫は免れなかった。 このようなことから、新型コロナウイルス感染症（COVID19）の対応における課題を踏まえ、外部委託や業務一元化、ICT等を活用した業務効率化を行うとともに、実践型訓練等による人材育成を推進するため、予防計画等との整合性を確保しながら実効性のある計画として、令和6年4月に「健康危機対処計画」を策定した。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨市保健センター]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間：平成30～令和5年度	
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)

計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	【令和3年度新型コロナウイルスワクチン接種者合計】149,962名 【令和4年度新型コロナウイルスワクチン接種者合計】70,834名 【令和5年度新型コロナウイルスワクチン接種者合計】27,957名 ＜内訳＞ 1回目：50名 2回目：71名 3回目：257名 4回目：712名 5回目：6,401名 6回目：12,200名 7回目：8,266名
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[戸田市福祉保健センター]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	計画期間中に実施した内容は以下のとおり ・新型コロナウイルス対策本部会議の開催 ・市のHP・広報・ツイッター・フェイスブック等での情報発信 ・小中学校、保育園等の関係部署への周知 ・事業所や市民、市役所内各課へ抗原検査キットの配布 ・新型コロナウイルスワクチン接種の推進のため、通知の発送や集団接種会場を設置 ・新型コロナウイルス感染症罹患者への食糧支援、パルスオキシメーターの貸与
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	新型コロナウイルス感染症に関係し、罹患予防のためのワクチン接種や罹患後に必要となる、食糧やパルスオキシメーターの支援など、状況に合わせた取り組みを実施した。以上の状況に応じた取り組みにより、感染拡大防止に寄与することができたと考える。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[埼玉県南部保健所]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	新型コロナウイルス感染症に関する相談、診療・検査、医療・療養体制の充実 ・各相談窓口と連携した相談 随時 ・大型連休時等の診療・検査医療機関の調整（5月、8月、年末年始） ・適切な受診・入院調整、宿泊療養調整、患者搬送 随時 ・各支援機関と連携した健康観察 随時 感染症対策の体制整備 ・防護服着脱訓練 1回／年 令和2年度、3年度中止。 ・新型インフルエンザ等感染症地域別会議 1回／年 令和2年度、3年度中止。 ・管内市担当者緊急連絡網の更新 1回／年 ・施設間の連携体制づくり支援 随時 感染症予防対策の普及啓発 ・施設等を対象とした研修会の実施 1～2回／年 ・施設等へ向けた情報提供 随時 ・クラスターが起きた施設へ訪問等での助言。
関連する指標	（現状を示す指標）
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	感染状況や感染症法の改正に応じ、その時期の問題点に応じ、相談、診療検査、医療・療養体制の充実のため、必要な対応を行った。また、感染症対策の体制整備や感染症予防対策の普及啓発等、重症化の予防となるよう支援した。 令和5年5月8日に感染症法5類へ移行し、上記の取り組みは縮小された。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

6 災害時医療

目 標	大規模災害が発生した場合には、限られた医療資源を最大限有効に活用し、発災後の時間経過に応じた適切な医療を提供します。 そのため、平常時から災害を念頭に置いた関係機関や団体との連携体制を構築します。
------------	--

主 な 取 組	・災害時対応マニュアル等の策定 ・災害時医療に関する研修や訓練の実施 ・災害時医療連携体制の強化 ・地域災害保健医療対策会議等の開催 ・災害時における保健衛生活動体制の整備 ・事業継続計画（BCP）の策定
----------------	---

実 施 主 体	医師会、歯科医師会、薬剤師会、市、保健所
----------------	----------------------

[川口市医師会]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間：平成30～令和5年度	・災害医療郡市担当理事会に参加した ・JMA T研修に参加した ・川口市主催の防災訓練に参加した ・災害時対応マニュアル策定に関する取組 ・健康危機管理体制の充実、強化 ・各種勉強会の開催、参加 ・川口市及び川口市保健所と対策会議を実施 その他臨時会議、ZOOM会議を実施した
関連する指標	（現状を示す指標） （目標とする指標）
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間：平成30～令和5年度	・災害医療郡市担当理事会に参加した ・JMA T研修に参加した ・川口市主催の防災訓練に参加した ・災害時対応マニュアル策定に関する取組 ・健康危機管理体制の充実、強化 ・各種勉強会の開催、参加 ・川口市及び川口市保健所と対策会議を実施 その他臨時会議、ZOOM会議を実施した 以上により、関係機関や団体との連携体制および災害時医療への対策を講じることができた。
自己評価	A （ほぼ目標が達成できた）

[蕨戸田市医師会]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間：平成 30～令和5年度	・戸田市平日夜間・休日急患診療所に非常用発電機を設置し、大規模災害時の医療拠点とする。 ・災害時の初期救急医療班を構築し訓練を実施し、実際に活動できるようにする。 ・蕨市、戸田市、南部保健所、消防等の関係機関と災害時の救急医療体制を協議する。 ・災害時の通信手段としてMCA無線（トランシーバー）を医師会と蕨市、戸田市、蕨市・戸田市消防本部及び蕨、戸田市内の救急病院に配備し、災害時に備える。 ・蕨市総合防災演習の応急救護訓練に医師と看護師が参加する。
関連する指標	（現状を示す指標）
	（目標とする指標）
計画期間の取組に 係る総括 ※計画期間：平成 30～令和5年度	・戸田市平日夜間・休日急患診療所に非常用発電機を設置し、大規模災害時の医療拠点とする ・災害時の初期救急医療班を構築し訓練を実施し、実際に活動できるようにする。 ・蕨市、戸田市、南部保健所、消防等の関係機関と災害時の救急医療体制を協議する ・災害時の通信手段としてMCA無線（トランシーバー）を医師会と蕨市、戸田市、蕨市・戸田市消防本部及び蕨、戸田市内の救急病院に配備し、災害時に備える。 ・蕨市総合防災演習の応急救護訓練に医師と看護師が参加する。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口歯科医師会]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間：平成 30～令和5年度	・災害時連絡手段の一つ携帯電話一斉メール配信システム「eメッセージ」の充実 ・川口市総合防災訓練への参加、医療救護及び身元確認訓練 特に医療救護は、災害コーディネーターの医科の先生方との連携 ・災害時歯科医療に関する研修会の開催
関連する指標	（現状を示す指標）
	（目標とする指標）
計画期間の取組に 係る総括 ※計画期間：平成 30～令和5年度	個人識別にはDNA鑑定が確実で有効だが、大規模災害においては、身元を特定するために照合するDNAの採取が困難な場合もありうる。そのような場合には、口腔内所見による個人識別が有用である。 また避難所においては、病弱者の口腔衛生管理が不十分だと誤嚥性肺炎のリスクが高まる。避難所を巡回する口腔衛生サポートチームの活動も重要である。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨戸田歯科医師会]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間：平成 30～令和5年度	・関係機関、団体(保健所、市町、医師会、薬剤師会、医療機関等)と「顔の見える関係」を形成し情報収集、共有体制を整備する。 ・埼玉歯災時安否確認システムの参加会員を増やす。 ・災害時歯科医療備蓄品の確認と整備。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に 係る総括 ※計画期間：平成 30～令和5年度	それぞれの取組に対し、おおむね問題なく整備が進んだ。 災害時歯科医療備蓄品においては、消費期限が近いものに対しては再購入し備蓄品入れ替えも検討した。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口薬剤師会]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間：平成 30～令和5年度	・災害時医療に関する学術講演会の実施及び参加 ・災害対応に関する研修の実施 ・災害時の会員安否確認システムの運用促進 ・川口市立医療センターとの合同災害訓練の実施
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に 係る総括 ※計画期間：平成 30～令和5年度	・災害対応に関する研修の実施 ・災害時医療に関する学術講演会の実施及び参加 ・災害時の会員安否確認システムの運用促進 ・川口市立医療センターとの合同災害訓練の実施
自己評価	B：（半分程度目標が達成できた

[蕨市地域薬剤師会]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間：平成 30～令和5年度	薬局間の連携により備蓄薬を公開し、取りまとめを行う
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に 係る総括 ※計画期間：平成 30～令和5年度	
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[戸田市薬剤師会]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	・ 緊急時連絡網の稼働 ・ 情報蒐集体制の整備（被災状況、安否確認等確認体制整備） ・ 災害拠点薬局（仮称）の整備（順次進行中） ・ 戸田市防災課との情報交換 ・ 「災害時活動マニュアル」の作成及び会員への周知（従事進行中） ・ 薬剤師災害リーダー研修受講 ・ 戸田市防災基本条例検討市民会議への参加 ・ 災害時拠点薬局の整備・対応マニュアルの検討 ・ 災害時備蓄品の選定と備蓄 ・ 会員薬局による災害時マスクの備蓄300箱の要請 ・ 災害時対応関連研修の実施 ・ 災害時対策研修会への参加 ・ 南部保健医療圏地域災害保健医療調整会への参加
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間：平成30～令和5年度	第7次計画期間は新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、一部研修会、防災会議の中止等の影響があったが、期間を通じて概ね目標を達成することができた。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口市保健総務課・保健所管理課]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	・ 市総合防災訓練「災害対策本部訓練」への参加 ・ 埼玉県南部地域保健医療圏・地域災害保健医療調整会議（平時版）への参加 ・ 市防災計画の改訂（平成30～令和4年度・毎年度末） ・ 南部保健医療圏災害時小児周産期医療体制情報伝達訓練への参加
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	・ 市の防災計画を改定し体制を整備することができた。今後は、対応マニュアルの作成や訓練の実施により、さらなる体制の強化を図る。 ・ また、各会議を通じて、関係各位と協力体制を日ごろから構築をしていく。 ・ 新型コロナウイルスの感染拡大により、保健所業務がひっ迫したことから、会議等の開催ができず、災害時医療について進めることができない時期があった。
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[蕨市保健センター]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間：平成30～令和5年度	
---	--

関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	・市主催の防災訓練への参加 ・市主催の避難所運営協議会への参加
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[戸田市市民医療センター]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間：平成30～令和5年度	・関係機関と協議を行い、現行の災害時対応マニュアル等の見直しを行う。 ・保健所等が実施する災害時医療に関する研修や訓練に積極的に参加するとともに、関係機関による訓練を実施する。 ・災害時医療体制の整備のため、関係機関による会議を必要時開催する。 ・関係機関と協議を行い、災害時における保健衛生活動体制を整備する。 ・救護所機能を強化するために、医薬品や食糧、毛布等の備蓄及び可搬式発電機の配備を行う。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	・災害時医療に関する会議や研修に参加し、関係機関との連携推進を図った。 ・水害時における初動体制マニュアルを策定し、訓練を実施した。 ・戸田市地域防災計画の更新に伴い、BCPの見直しを行った。 ・災害時の備えとしてテント用陰圧装置や可動式発電機を購入した。 ・陰圧テント設置、トリアージ訓練を実施し、職員の対応能力の向上を図った。 ・防災医薬品の計画的な更新を実施した。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[埼玉県南部保健所]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	・地域災害保健医療調整会議の設置及び開催 令和元年度～ 継続 ・南部保健所所内体制整備（健康危機管理マニュアルの更新、備蓄物品・防災無線等の整備、職員訓練の実施） 平成30年度～ 継続 ・健康危機管理研修（感染症対策を含む）の実施 平成30年度～ 継続 ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）入力訓練の実施 平成30年度～ 継続 ・管内市をはじめとする関係機関主催の会議、研修等への参加及び協力 平成30年度～ 継続 ・医療機関向けBCP（業務継続計画）策定支援研修 平成30年度～ 継続 ・医療機関向け医療安全研修（防火、防災等を含む）
--	---

関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	・地域災害保健医療調整会議の設置及び開催 令和元年度～ 継続 医療整備課から「埼玉県における地域の災害時保健医療体制の充実・強化に関する取組方針」が通知された。これに基づき南部保健医療圏における地域災害保健医療調整会議を設置し、令和元年度に1回目の会議を開催した。 令和2年度 南部保健所大会議室で開催 令和3年度 コロナ対応にて中止 令和4年度 埼玉協同病院が災害時連携病院に指定 令和5年度 川口市立生涯学習プラザで開催。公平病院が災害時連携病院に指定。同時に地域災害保健医療対策会議設置訓練を計画し事前通信訓練を行った。 ・南部保健所所内体制整備（健康危機管理マニュアルの更新、備蓄物品・防災無線等の整備、職員訓練の実施） 平成30年度～ 継続 ① 初期活動・災害用機材使用訓練（複数回実施、職員全員参加） 夜間や休日に緊急的に保健所職員が参集した場合に必要な医療救護初期活動マニュアルを平成29年3月に作成した。マニュアル・アクションカードについて、平成30年度は同庁舎内に川口市保健所が設置されたため、それに伴う改訂を3月に実施。令和元年度からは、マニュアルカードを用いた所内訓練を実施した。訓練では、マニュアルによる初期活動とともに、職員のEMIS（広域災害救急医療情報システム）の確認・入力訓練、発電機使用訓練及び点検、防災無線、防災FAXの使用方法的確認を行った。 令和元年度 所内訓練実施 令和2年度 所内訓練実施 令和3年度 コロナ対応に伴い未実施 令和4年度 所内訓練実施 令和5年度 所内訓練実施 ② 衛星携帯電話・行政防災無線（電話・FAX）を用いての災害時伝達訓練 令和元年度は朝霞保健所、蕨戸田市医師会、川口市立医療センターと防災無線通信訓練を実施した。令和2、3、4、5年度は朝霞保健所と衛星電話通信訓練、保健医療政策課と防災無線での訓練を行った。 ・健康危機管理研修（感染症対策を含む）の実施 平成30年度～ 継続 大規模災害や感染症等の健康危機管理が発生した際の保健医療の役割や関係機関の連携、職員の対応能力の向上のために実施。 埼玉県災害時公衆衛生活動マニュアルを踏まえた健康危機管理研修や訓練を実施した。令和元年度は3拠点保健所合同での開催となった。

	令和元年度 ・熊谷保健所：輸入感染症をテーマとした訓練（令和元年8月27日） ・南部保健所・狭山・春日部合同：生物テロテーマの訓練（令和元年11月25日） ・南部保健所：災害時の自衛隊の役割をテーマとした講演（令和元年12月19日） 令和2年度 災害時の机上訓練（川口市立医療センター） 台風19号で被災した特養である川越キングスガーデンの施設長による講演 令和3年度 コロナ対応により未実施 令和4年度 現場（病棟）で考えるBCP：行動計画策定研修 令和5年度 南部保健所健康危機管理研修会「心理学的応急処置 サイコロジカルファーストエイド」（川口市共催） ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）入力訓練の実施 平成30年度～ 継続 医療整備課で行うEMIS入力訓練について、医療機関（病院・透析クリニック）への周知や入力確認を行った。災害発生時や地震発生時入力確認をし、自力で入力できない医療機関の代行入力を行うこととなっている。また、南部保健所独自で、EMIS入力訓練に伴い、PEACE（日本産科婦人科学会大規模災害対策情報システム）への入力を行う災害時小児周産期医療対応訓練を実施した。 ・医療機関向けBCP（業務継続計画）策定支援研修 平成30年度～ 継続 川口市立医療センターの地域災害医療コーディネーターが中心となって講演・研修を実施。平成30年度には講演と研修を実施し、令和元年度には未策定病院を対象に研修を実施した。 令和2、3、4年度も引き続きBCP策定支援をおこなった。概ね管内医療機関（病院）のBCPが策定されたため、令和3年度以降は策定したBCPに基づき演習を行い、適宜BCPの見直しを進めた。 ・医療機関向け医療安全研修（防火、防災等を含む） 災害時地域医療体制の強化のため、南部保健医療圏では、マニュアル及びアクションカードを使用し、平成30年度から毎年、「南部保健医療圏災害時小児周産期医療体制情報伝達訓練及び検証」を実施している。 平成30年度 済生会川口総合病院を本部とし、各参加医療機関は自施 で参加 令和元年度 川口市立医療センター（集合形式） 令和2年度 済生会川口総合病院を本部とし、各参加医療機関は自施設で 参加 令和3年度 コロナウイルス感染症の感染拡大により中止 令和4年度 川口市立医療センター（集合形式） 令和5年度 川口済生会総合病（集合形式）
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

7 在宅医療の推進

目 標

在宅での療養を希望する患者が、住み慣れた地域で必要な医療を受けるため
 (1)在宅療養に向けた入退院支援 (2)日常の療養生活の支援 (3)急変時の対応
 (4)患者が望む場所での看取りを目指し、地域における医療や介護の多職種連携
 を図りながら、24時間体制で在宅医療が提供される体制を構築します。

主 な 取 組

- ・地域における入退院支援の充実
- ・在宅医療に関する各種情報の公表・提供
- ・多職種連携による患者・家族支援の推進
- ・医療・介護関係者の研修会の開催
- ・在宅医療・介護に関する相談の充実
- ・地域住民への普及啓発

実 施 主 体

医師会、歯科医師会、薬剤師会、市、保健所

[川口市医師会]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間:平成30 ～令和5年度	・在宅医療部会の開催 ・川口市在宅医療サポートセンターを運営し、一般市民やケアマネージャーからの相談に迅速に対応した。 ・川口市医師会地域包括ケア学会を開催 ・人生の最終段階における医療ケアに関する勉強会を開催 ・川口市医師会地域緩和ケア勉強会を開催 ・人生の最終段階における医療ケアに関する勉強会を開催
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)
計画期間の取組に 係る総括 ※計画期間:平成30 ～令和5年度	・在宅医療部会の開催 ・川口市在宅医療サポートセンターを運営し、一般市民やケアマネージャーからの相談に迅速に対応した。 ・川口市医師会地域包括ケア学会を開催 ・人生の最終段階における医療ケアに関する勉強会を開催 ・川口市医師会地域緩和ケア勉強会を開催 ・人生の最終段階における医療ケアに関する勉強会を開催 以上のことにより、市民への啓蒙活動や、医療・介護関係者のスキルアップ、多職種連携や顔の見える関係の構築を推進することができた。
自己評価	A (ほぼ目標が達成できた)

[蕨田市医師会]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間:平成30 ～令和5年度	・在宅医療拠点窓口 医療・介護の相談 各市の協議会・研修会等に参加し啓発活動を行う 往診医の登録・リスト化 在宅医療支援ベッドの確保…5箇所の協力病院が輪番で対応 ・ICTによる医療、介護連携の推進 ・多職種連携の推進 「連携ネットCafé」zoomにて開催 ・ACPの普及と啓発活動
--	---

	・埼玉県南部地域保健医療・地域医療構想協議会 在宅医療部会への参加 ・南部保険医療圏 難病対策地域協議会への参加 ・がん診療連携拠点病院と連携し緩和ケアセミナーの実施
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間: 平成30～令和5年度	・在宅医療拠点窓口 医療・介護の相談 各市の協議会・研修会等に参加し啓発活動を行う 往診医の登録・リスト化 在宅医療支援ベッドの確保 5箇所の協力病院が輪番で対応 ・ICTによる医療、介護連携の推進 ・多職種連携の推進 「連携ネットCafé」zoomにて開催 ・ACPの普及と啓発活動 ・埼玉県南部地域保健医療・地域医療構想協議会 在宅医療部会への参加 ・南部保険医療圏 難病対策地域協議会への参加 ・がん診療連携拠点病院と連携し緩和ケアセミナーの実施
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口歯科医師会]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間: 平成30～令和5年度	・多職種と連携強化し地域包括ケアシステムの拠点づくりを推進する ・川口きゅうばりリハビリテーション病院との連携（摂食嚥下リハビリ）
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間: 平成30～令和5年度	新型コロナウイルス感染拡大時は、介護施設等での訪問歯科診療が出来なかった。高齢者は持病がある方も多く、介護に関わる方々のストレスがどれ程大きかったかは想像に難くない。 しかしインフルエンザも新型コロナも、上咽頭粘膜から侵入するケースが多いので、健全な口腔環境を維持する事も大切である。 一方では、オンラインによる講習会や会議の手法が確立され、時間と場所の制限が軽減された。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨戸田歯科医師会]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間: 平成30～令和5年度	埼玉県歯科医師会開設の「在宅歯科医療連携推進窓口」連携による供給の拡大を図る。それに対しポスターおよびパンフレットを用いて啓発を行う。 ・地域連携の方法の一つとして、MCSを有効利用していく。 ・在宅歯科診療を行う歯科医院増加のための一助として、訪問歯科診療に必要な装備の充実を図る。 ・必要不可欠な、そしてより安全な在宅歯科診療を行うために、該当研修会への参加による歯科医師のスキルアップを図る。 ・歯科医師会として、在宅療養支援診療所に協力できる体制の構築を行っていくことに関する情報の収集を行い、該当チームづくりを行う ・地域包括ケア会議に積極的に参加し、蕨市・戸田市における包括ケアの必
---------------------------------------	--

	要性を多職種で考えていくよう努力する。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間:平成30～令和5年度	埼玉県歯科医師会開設の「在宅歯科医療連携推進窓口」連携による供給の拡大を図った。それに対しポスターおよびパンフレットを用いて啓発を行なった。 ・地域連携の方法の一つとして、MCSの利用が増加した。 ・在宅歯科診療を行う歯科医院増加のための一助として、訪問歯科診療に必要な装備の購入を行った。 ・より良質な在宅歯科診療を行うために、研修会の開催、学会参加による歯科医師のスキルアップを図った。 ・病院における拠点DHのアセスメント拡大のための啓発を行った。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口薬剤師会]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間：平成30～令和5年度	・在宅医療に関する学術講演会の実施及び参加 ・在宅医療に関する会員情報の公開 ・地域包括ケアシステム構築への協力
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間：平成30～令和5年度	・在宅医療に関する学術講演会の実施及び参加 ・在宅医療支援会員薬局リストを作成し関係機関に配布すると共に会HPへUP ・地域ケア会議へ会員講師の派遣
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[蕨市地域薬剤師会]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間:平成30～令和5年度	医師、ケアマネージャーなどと協力して積極的に在宅を行う
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間:平成30～令和5年度	
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[戸田市薬剤師会]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	・ 在宅担当薬剤師情報交換会実施 ・ 在宅関連研修の実施 ・ 地域包括ケア会議への参加 ・ 地域包括支援センターとの情報交換 ・ 市民相談窓口の設置（HP上に窓口薬局を掲載） ・ 戸田中央病院薬剤部を通じ、地域連携室との情報共有 ・ 在宅医療支援薬剤師情報交換会の開催 ・ 在宅調剤の受け皿の把握のため会員薬局へアンケート実施 ・ 自立支援型地域包括ケア会議への参加 ・ 介護予防啓発チラシの配布 ・ 学術研修会実施 ・ 多職種との合同研修会の企画 ・ HPによる在宅窓口の掲示 ・ 薬剤師会主催フレイル予防スタンプラリーの開催 ・ 家族介護教室への講師派遣 ・ 連携ネットCaféへの参加、講師派遣 ・ 南部地域保健医療協議会在宅医療部会の参加 ・ 南部保健医療圏 難病対策地域協議会への参加 ・ 自立支援型地域ケア会議への助言者派遣 ・ MCS(メディカルケアステーション)の活用 ・ 医療介護連携ネットワーク会議への参加 ・ 戸田中央総合病院との合同研修会実施（WEB）
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)
計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間：平成 30～令和5年度	第7次計画期間は新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、一部研修会、会議の中止等の影響があったが、期間を通じて概ね目標を達成することができた。
自己評価	

[川口市長寿支援課]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	(1) 地域包括ケア連絡協議会幹事会の開催。入退院支援ルールを活用状況の把握、ルール運用の課題を抽出し、より円滑な運用に向けて見直しを検討。開催回数は下表参照。 (2) 地域包括ケア連絡協議会幹事会において、医療介護専用SNS「メディカルケアステーション」の運用方法を協議。 (3) 地域包括ケア連絡協議会幹事会において川口市在宅医療サポートセンターの相談内容等を報告。課題等について検討。引き続き在宅医療サポートセンター主催にて多職種連携の研修会を開催。開催回数は下表参照。 (4) 南部保健所・蕨市・戸田市との共催により「在宅医療講演会」、「多職種連携の会」を開催。開催回数は下表参照。
---	---

	年度	H30	R元	R2	R3	R4	R5
	(1)	3	3	2	4	4	5
	(3)	-	-	-	1	2	2
	(4)	2	2	1	1	2	2
関連する指標	(現状を示す指標) 特になし						
	(目標とする指標) 特になし						
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に利用できるようにするため、関係者の連携と支援体制整備を進めた。						
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた						

[川口市疾保健所疾病対策課]

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	○多職種連携による患者・家族支援の推進 ・南部保健医療圏難病患者等地域支援連絡会の開催 ・南部保健医療圏難病対策地域協議会の開催 ※南部保健医療圏（南部保健所・川口市保健所所管区域） ○医療・介護関係者の研修会の開催 ・難病相談支援者研修を実施 ○医療相談事業の実施 ・専門医による市民向け難病医療講演会の開催 ・情報紙「難病相談係だより」の作成及び配布
関連する指標	(現状を示す指標) 特になし
	(目標とする指標) 特になし
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	○多職種連携による患者・家族支援の推進 難病患者等地域支援連絡会や難病対策地域協議会を開催することで、地域の課題を明確化し、共有することができた。 ○医療・介護関係者の研修会の開催 難病相談支援者研修を実施し、指定難病に関する理解を深め、支援者の資質の向上を図ることができた。 ○医療相談事業の実施 専門医による難病医療講演会を開催したことや情報紙「難病相談係だより」を作成し配布したことにより指定難病に関する理解を深めることができた。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

〔蕨市健康長寿課〕

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	・戸田市と合同で「医療・介護連携ネットワーク会議」を毎年開催。在宅医療・介護連携の進捗や入退院支援ルールについて検討した。新型コロナウイルス感染症が拡大した時期は書名開催等に変更した。 ・介護保険事業者マップ/在宅医療機関マップを作成し、公開した。 ・戸田市と合同で入退院支援ルールを策定、運用を開始した。 ・南部保健所、川口市、戸田市、埼玉県南部地域保健医療協議会在宅医療部会との共催により、年1回「在宅医療講演会」を実施した。新型コロナウイルス感染症が拡大した時期は中止となった。 ・南部保健所、川口市、戸田市、埼玉県南部地域保健医療協議会在宅医療部会との共催により、年1回医療介護関係者向けの「多職種連携の会」を実施した。新型コロナウイルス感染症が拡大した時期はオンライン形式とした。 ・蕨戸田市在宅医療支援センターを中心として Zoom を用いて医療・介護職を対象とした「連携ネットカフェ」を不定期開催した。 ・人材バンク事業を活用し、ACP普及・啓発講座を開催した。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	・同一医療圏である戸田市、川口市と連携し、各種研修会等を定期開催することができた。 ・新型コロナウイルス感染症が拡大した時期は、オンライン・書面開催に変更し実施した。 ・今後も医療・介護関係者の連携体制構築などが必要と考える。
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

〔戸田市健康長寿課〕

計画期間を通じた具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	在宅医療・介護連携推進事業における（ア）～（ク）の8項目の事業に取り組みながら、医療・介護関係者間の顔の見える関係づくりを進める。 （ア）市内医療機関・介護保険事業所情報のリスト化 （イ）医療・介護連携ネットワーク会議の開催 （ウ）在宅療養支援ベッドの確保。往診医や患者情報の登録 （エ）ICTシステム（メディカルケアステーション（MCS））の利用促進 （オ）蕨戸田市在宅医療支援センターとの連携強化 （カ）医療・介護関係者の研修会の開催（保健所・川口市・蕨市共催） （キ）市民向け講演会の開催（保健所・川口市・蕨市共催） （ク）二次医療圏域での情報共有。研修・講演会の共同開催
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)

計画期間の 取組に 係る総括 ※計画期間は、 平成30～令和5年度	在宅医療・介護連携推進事業における（ア）～（ク）の8項目の事業に取り組みながら、医療・介護関係者間の顔の見える関係づくりを進めた。 （ア）市内医療機関・介護保険事業所情報のリスト化 →介護保険事業所マップの作成、埼玉県医療機能情報提供システムや厚生労働省医療情報ネットナビへのリンクを市ホームページに掲載した。 （イ）医療・介護連携ネットワーク会議の開催 →必要に応じて、適宜開催することができた。 （ウ）在宅療養支援ベッドの確保。往診医や患者情報の登録 →蕨田市在宅医療支援センターにおいて、適宜対応を行った。 （エ）ICTシステム（メディカルケアステーション（MCS））の利用促進 →蕨田市在宅医療支援センターにおいて、登録者数の集計等を行った。また、二次医療圏や事業開催時における情報共有について、積極的にMCSを活用した。 （オ）蕨田市在宅医療支援センターとの連携強化 →相談件数の定期報告や（イ）医療・介護連携ネットワーク会議開催に係る打合せ等において情報共有を行う等、適宜連携を行った。 （カ）医療・介護関係者の研修会の開催（保健所・川口市・蕨市共催） →新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受けた年を除いて、毎年度1回実施できた。 （キ）市民向け講演会の開催（保健所・川口市・蕨市共催） →新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受けた年を除いて、毎年度1回実施できた。 （ク）二次医療圏域での情報共有。研修・講演会の共同開催 →川口市・蕨市・戸田市の在宅医療事業担当者が集まり、「在宅医療事業担当者会議」を開催し、情報共有を行った。また、（カ）（キ）のとおり研修・講演会を共同開催した。 【新型コロナウイルス感染症拡大の影響】 ・令和2年度・令和3年度の「在宅医療講演会」は中止。 ・令和2年度の「多職種連携の会」は中止。
自己評価	A （ほぼ目標が達成できた）

[埼玉県南部保健所]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間 平成30～令和5年度	・多職種連携による患者・家族支援の推進 南部保健医療圏（埼玉県南部保健所・川口市保健所管区域）難病対策地域協議会の設置（平成30年11月1日設置） ・医療・介護関係者の研修会の開催 ・南部地域保健医療・地域医療構想協議会在宅医療部会の開催 ・多職種連携の会 関係職員及び専門職向け研修会 ・市民向け在宅医療講演会
関連する指標	（現状を示す指標）
	（目標とする指標）

計画期間の取組に係る総括
※計画期間：
平成30～令和5年度

- ・南部地域保健医療協議会 在宅医療部会

在宅医療部会は平成25年度に、南部保健医療圏地域保健医療協議会の専門部会として設置された。

令和元年度 南部保健所2階大会議室
(令和元年5月24日13:15～14:45)

令和2年度 南部保健所2階大会議室
(令和2年7月10日13:15～14:30)

令和3年度 令和4年度 書面会議
(新型コロナウイルス感染症の影響による)

令和5年度 南部保健所2階大会議室
(令和5年5月15日13:30～14:30)
- ・市民向け在宅医療講演会

蕨市健康福祉部健康長寿課、戸田市福祉部健康長寿課、川口市福祉部長寿支援課、川口市保健所の担当者と担当者会議を年3～4回行い、分担して事業を行っている。主担当の市が内容を検討し、講師選定、会場を決めて開催した。

令和元年度 在宅医療講演会
令和元年11月12日(火) 14:00～15:45
上戸田交流センターあいパル(中島病院院長)

令和2年度 新型コロナウイルス感染症の影響により中止

令和3年度 新型コロナウイルス感染症の影響により中止

令和4年度 在宅医療講演会施
令和4年10月20日(木) 日14:00～15:45
川口駅前市民ホール4階フレンディア
「人生会議ってなに？」(川口市医師会会長)

令和5年度 在宅医療講演会
令和5年10月12日(木) 14:00～16:00
上戸田地域交流センターあいパル
「いつまでも若さを保つ口腔ケア～素敵な笑顔で明るい人生を～」
はねだ歯科クリニック院長
戸田中央リハビリテーション病院 言語聴覚士
- ・多職種連携の会

市民向け講演会と同様、蕨市健康福祉部健康長寿課、戸田市福祉部健康長寿課、川口市福祉部長寿支援課、川口市保健所の担当者と担当者会議を年3～4回行い、分担して事業を行っている。主担当の市が内容を検討し、講師選定、会場を決めて開催した。医師、歯科医師、薬剤師、ケアマネージャーなど在宅医療関係者を対象に、研修やグループワークなどを行った。

令和元年度 多職種連携の会
令和2年2月6日(木) 13:00～16:00
蕨市民会館
(1) 映画上映会「ピア まちをつなぐもの」
(2) グループワーク「多職種連携を考える」

令和2年度 新型コロナウイルス感染症の影響により中止

	令和3年度 多職種連携の会をオンライン開催 令和4年1月27日（木）14：00～16：00 オンライン開催（参加者） 川口駅前市民ホール フレンディア（講師・パネリスト等） （1）「ACPの理解とエンディングノートを活用した多職種連携のあり方」 講師 医療法人社団弘恵会杉浦医院院長 （2）パネルディスカッション「意思決定の支援に多職種がどう関わるのか」 座長・在宅医 仁愛医院院長 オブザーバー 杉浦医院院長 パネリスト 訪問歯科医 金谷歯科クリニック院長 薬剤師 金子ファーマシー代表取締役社長 訪問看護師 鳩ヶ谷訪問看護ステーション所長 ケアマネジャー 川口市新郷居宅介護支援事業所管理者 ヘルパー 介護老人福祉施設ベルホーム訪問介護事業所責任者 包括職員 川口市南平みなみ地域包括支援センター管理者 令和4年度 多職種連携の会 令和5年2月2日（木）午後14：00～16：00 戸田市文化会館 (1)在宅医療における多職種連携の新世界 医療法人社団仁真会辻川ホームクリニック院長 (2)ワークショップ：入退院時の介護と医療の連携について 令和5年度多職種連携の会 令和6年1月23日（火）14：00～16：00 戸田市文化会館2階展示室 体験談「私の体験談～連携あるある～」 みつわこまち介護相談室 介護支援専門員 ワークショップ「体験の振り返りを通して、これからの連携について考える」
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

8 医薬品等の安全対策

目 標	県民の命と健康を守るため、品質の高い、安全な医薬品等の流通を目指します。 また、医薬品等の効能効果、用法用量及び副作用等の正しい情報を県民に提供し、適正使用を推進するとともに、ジェネリック医薬品（後発医薬品）の使用を促進して、優れた医療保険制度を次世代まで継続することに貢献します。
------------	--

主 な 取 組	・ 薬局、医薬品販売業者等に対する監視指導の実施 ・ 医薬品等の正しい知識の普及啓発 ・ かかりつけ薬剤師・薬局の活用等の推進 ・ ジェネリック医薬品の使用促進 ・ 薬物乱用対策の推進 ・ 毒物劇物製造業者等に対する監視指導の実施
----------------	--

実 施 主 体	医師会、薬剤師会、市、保健所
----------------	----------------

[川口市医師会]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間:平成30 ～令和5年度	・ 埼玉県南部保健所管内薬物乱用防止指導員協議会に参画した。 ・ 川口薬剤師会主催の市民公開講座に講師を派遣した。 ・ 川口市福祉部と協力しジェネリック医薬品の使用促進に努めた。
関連する指標	（現状を示す指標） （目標とする指標）
計画期間の取組に 係る総括 ※計画期間:平成30 ～令和5年度	・ 埼玉県南部保健所管内薬物乱用防止指導員協議会に参画した。 ・ 川口薬剤師会主催の市民公開講座に講師を派遣した。 ・ 川口市福祉部と協力しジェネリック医薬品の使用促進に努めた。 以上により医薬品の適正使用の推進およびジェネリック医薬品の使用促進など医療保険制度を継続することに貢献することができた。
自己評価	A （ほぼ目標が達成できた）

[蕨田市医師会]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間:平成30 ～令和5年度	・ ジェネリック医薬品の使用促進を図る ・ 薬物乱用防止キャンペーンへの参加 ・ 向精神薬の処方に関しての注意喚起
関連する指標	（現状を示す指標） （目標とする指標）
計画期間の取組に 係る総括 ※計画期間:平成30 ～令和5年度	・ ジェネリック医薬品の使用促進を図る ・ 薬物乱用防止キャンペーンへの参加 ・ 向精神薬の処方に関しての注意喚起
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口歯科医師会]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間:平成30 ～令和5年度	・「薬剤関連顎骨壊死」を防ぐための三師会による「骨と歯の健康を考える会」を継続して連携強化を図る
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に 係る総括 ※計画期間:平成30 ～令和5年度	令和5年より、三師会による「骨と歯の健康を考える会」が定期的に行われている。連携を図っていただけるのは有り難いが、薬剤関連顎骨壊死に対する一般歯科での対応には限界があるため、不安は払拭できていない。 投薬ではなく注射の場合は、お薬手帳で確認できない場合もあり、確実な情報提供が望まれる。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[蕨戸田歯科医師会]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間:平成30 ～令和5年度	・ジェネリック医薬品の使用促進について周知した。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に 係る総括 ※計画期間:平成30 ～令和5年度	・ジェネリック医薬品の使用促進について継続的に周知したことにより、従前に比べてジェネリック医薬品の使用促進が大きく進んだ。
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[川口薬剤師会]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間:平成30 ～令和5年度	・医薬品等の正しい使用法等の普及、啓発（地域及び学校） ・かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師の推進 ・埼玉県薬物乱用防止指導員の推薦及び防止活動の実施 ・医薬品等の安全対策に関わる学術講演会の実施及び参加
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に 係る総括 ※計画期間:平成30 ～令和5年度	・埼玉県薬物乱用指導員への会員の推薦及び薬物乱用防止活動への協力 ・会員学校薬剤師の医薬品等の正しい使用法の指導への支援 ・医薬品等の安全対策に関わる学術講演会の実施及び参加 ・かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師の推進 ・医薬品等の正しい使用法について地域や学校で指導、助言
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[蕨市地域薬剤師会]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間:平成30 ～令和5年度	医薬品の供給不足が目立つが、医師と連携して、代替薬を使用して地域住民の健康を守る
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間:平成30 ～令和5年度	
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[戸田市薬剤師会]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	- スポーツファーマシストとして、アスリートからの相談応需 - 戸田中央病院薬剤部とのポリファーマシー関連研修会の開催 →新型コロナの影響により延期 - 薬物乱用防止研修会への参加 - 薬物乱用防止キャンペーン「ダメ、絶対」国連募金実施 - 薬物乱用防止教室の開催 健康福祉まつりにて講座開催 小・中・高校での講座開催 - 市民向け講習会などの啓もう活動実施 - 町会単位のお薬の出前講座実施 大前町会地域ケア会議「お薬との上手な付き合い方」講座開催 とだ元気体操にて講座開催 - 医薬品の安全対策を進める薬剤師会の会員として、ステッカーを作成し、一般市民にわかるように掲示 - 医薬品安定供給のための対策検討 - とだ地域活動薬剤師の会設立（MCS） - 健康福祉まつりでのお薬相談の実施 - 薬物乱用防止ティッシュ配り啓蒙活動実施 - TODA元気体操会場でのミニ講座（お薬手帳、かかりつけ薬局） - 医薬品流通状況調査
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間:平成30 ～令和5年度	健康まつりでのお薬相談 第7次計画期間は新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、一部対面による研修会、会議の中止等の影響があったが、期間を通じて概ね目標を達成することができた。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[川口市保健所管理課]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	・薬事関係施設監視指導件数 計 2862件						
	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
	515件	412件	426件	421件	613件	475件	
	・広報かわぐちへの記事掲載 計 12回						
	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
	1回 (6月号)	1回 (8月号)	3回 (5, 6, 10月)	2回 (5, 6月号)	2回 (5, 6月)	3回 (5, 6, 10月)	
計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	・保健所広報誌(けんこう砦)への記事掲載 1回 (令和5年11月)						
	・「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金への協力						
	・薬物乱用防止啓発ポスターコンクール応募数(応募学校数)						
		平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
	小学生の部	48点 (7校)	102点 (14校)	78点 (10校)	132点 (15校)	47点 (10校)	2点 (1校)
	中学生の部	180点 (5校)	188点 (7校)	142点 (5校)	179点 (10校)	152点 (9校)	119点 (7校)
高校生の部	0点 (0校)	3点 (1校)	0点 (0校)	4点 (1校)	0点 (0校)	5点 (1校)	
関連する指標	(現状を示す指標)						
	毒物劇物を原因とする健康被害件数、薬事関係施設監視件数						
	(目標とする指標)						
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	毒物劇物を原因とする健康被害件数、薬事関係施設監視件数						
	平成30年の中核市移行から、医薬品の適正流通のための薬局開設者等への監視指導、適正使用のために市民、特に若年層への啓発活動を行った。						
	薬事関係施設監視件数は、新型コロナウイルス感染症拡大により実地調査を控えたため、平成31年度から令和3年度については減少したが、令和4年度に積極的な実地調査を行ったため、計画期間内においては予定通りの監視件数となった。						
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた						

[蕨市保健センター]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
計画期間の取組に 係る総括 ※計画期間：平成 30～令和5年度	・ポスター掲示等による薬物乱用対策の推進
自己評価	B：半分程度目標が達成できた

[戸田市保険年金課]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	平成30年度から令和5年度において、年2回通知を行った。 平成30年度 10月通知 489名 3月通知 430名 令和 元年度 10月通知 388名 3月通知 365名 令和 2年度 10月通知 384名 3月通知 281名 令和 3年度 10月通知 315名 3月通知 318名 令和 4年度 10月通知 235名 3月通知 211名 令和 5年度 10月通知 278名 3月通知 166名
関連する指標	(現状を示す指標) ジェネリック医薬品数量シェア 令和5年度平均85.0%
	(目標とする指標) ジェネリック医薬品数量シェア 80%以上
計画期間の取組に 係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	平成30年度から令和5年度において、ジェネリック医薬品の利用促進のため、年2回以上通知を発送するという取組を達成することができた。 国の目標値も達成しており、このまま事業を継続し、現状値を下回らないよう取り組んでいきたい。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた

[埼玉県南部保健所]

計画期間を通じた 具体的な取組実績 ※計画期間： 平成30～令和5年度	・薬局等の監視指導 延べ550件の監視指導を実施した。 ・薬物乱用防止対策の推進 ①学校で実施される薬物乱用防止講習会に、南部保健所管内薬物乱用防止指導員を毎年派遣した。計画期間を通じ延べ43回派遣した。 ②新型コロナウイルス感染症拡大により、開催を中止した期間（令和2年～令和4年度）もあったが、それ以外では毎年1回以上、薬物乱用防止指導員を対象にした講習会及び薬物乱用防止キャンペーンを実施した。 ・毒物劇物製造業者等の監視指導 延べ144件の監視指導を実施した。
関連する指標	（現状を示す指標）
	（目標とする指標）
計画期間の取組に係る総括 ※計画期間： 平成30～令和5年度	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、薬物乱用防止指導員を対象とした講習会や薬物乱用防止啓発キャンペーンなど薬物乱用対策の推進に係る事業の実施を見合わせた期間があった。 このように新型コロナウイルス感染症拡大による影響はあったが、計画期間を通じて、薬局等や毒物劇物製造業者等の監視指導を実施するとともに、薬物乱用防止講習会に薬物乱用防止指導員を派遣すること等により、医薬品等の安全対策に寄与した。
自己評価	A：ほぼ目標が達成できた